



創刊にあたって

二宮町教育委員会は令和5年度より、既存の学校の体制と学校の施設をそのまま活用維持しながら、「二宮小学校・二宮中学校」「一色小学校・山西小学校・二宮西中学校」の2つのグループで小中一貫教育に取り組むことを計画しております。そこで小中一貫教育とはどのようなものなのか、また二宮町が取り組む小中一貫教育の具体について町民の皆様にご理解いただくために「二宮町小中一貫教育通信」を発信して参ります。ご一読くださるようお願い申し上げます。

日本の小中一貫教育の導入の歴史

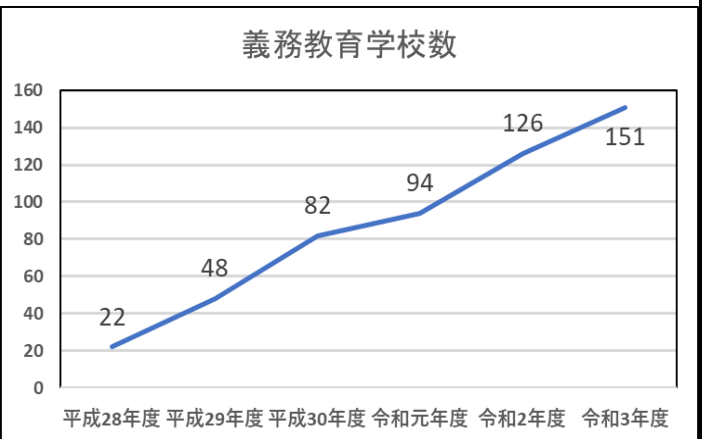
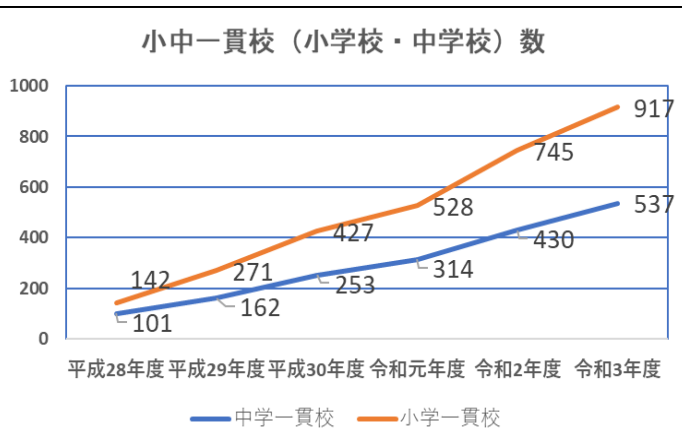
小中一貫教育を初めて導入したのは、広島県呉市でした。平成12(2000)年度に文部省研究開発学校の指定を受け、3小1中学校を統合し、スタートしました。研究開発学校とは、教育課程の改善に資する実証的資料を得るため、文部科学大臣が申請のあった学校に学習指導要領等現行の教育課程の基準によらない教育課程の編成・実施を認め、新しい教育課程・指導方法について研究開発する制度です。導入のねらいは、義務教育9年間で修了するにふさわしい学力と社会性の育成、いわゆる中1ギャップの解消、自尊感情の向上とされました。その後、呉市は、市内の全26中学校区で小中一貫教育を実施するようになっていきます。

平成15(2003)年には、構造改革特別区域研究開発学校制度が創設され、これを利用して、平成16(2004)年度から東京都品川区で、平成18(2006)年度から東京都三鷹市が小中一貫特区の取組を開始し、徐々に広がりを見せてきました。

平成20(2008)年には、教育課程特例校制度が創設され(特区開発の全国展開)、小中一貫校導入のハードルが大きく引き下げられることとなりました。

また、法改正として教育再生実行会議の第5次提言や中央教育審議会答申を経て、平成27(2015)年6月の通常国会で、9年間の義務教育を一貫して行う新たな学校の種類である「義務教育学校」の設置を可能とする改正学校教育法が成立しました。平成28(2016)年4月1日、改正学校教育法が施行。小中一貫教育が制度として全国的に開始されました。

全国に小中一貫教育校はどのくらいあるのか



出典 文部科学省 学校基本調査 ※国立、公立、私立の合計数

小中一貫教育校、義務教育学校は年々増加していますが、令和3年度の全国の小学校数は19,336校で、小学校での小中一貫教育校は4.7%です。中学校数は10,076校で、中学校での小中一貫教育校は5.3%です。義務教育学校は小・中学校の組織が一体化され、1人の学校長、1つの教職員組織で運営される学校です。